

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	物流・産業	26年度事業・施策評価結果			責任者 建設部 事業推進課長
施策名	産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成	成果	コスト		
事務事業名	飛島ふ頭道路(改良)整備事業	継続	維持	維持	連絡先 052-654-7921 港営課、工事課、港湾工事事務所
目的	対象(誰・何を)	飛島ふ頭内道路			事業期間 平成24~28年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	飛島ふ頭集中管理ゲートの供用に伴う物流動線の確保及び通行車両に対応した道路とするために、道路の整備・改良及び交差点改良を行います。			
概要	整備場所:愛知県海部郡飛島村 内容・規模:運用を開始した集中管理ゲートへの動線確保のため、西側に新規道路、既設道路に左折帯を整備し、物流動線の充実を図り、舗装改良を実施して車両走行の安全性を向上します。新規道路整備 約0.3km、既設道路等改良 約2.4km 総事業費:8.0億円(平成27年度より9億円から変更) 事業手法:防災・安全交付金事業				根拠 法令等 社会資本整備重点 計画法 名古屋港湾計画
事業着手時点の 評価	飛島ふ頭集中管理ゲート供用後の物流動線の拡充を図り、物流の効率化を向上させます。また、舗装改良を行うことにより車両走行の安全性・快適性が向上します。				実施 義務 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
27年度の実施予定	飛島①号線において、ひび割れ・轍により脆弱となった舗装表面の切削を行い、切削により取り除いた部分にアスファルトを舗設する改良(切削オーバーレイ)を行います。				関連 シート

2 DO(実施)

27年度に実施した 内容・結果	飛島①号線において約200mの改良(切削オーバーレイ)を行いました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	合計(平成24年度~)	備考(費用の増減理由等) 平成26年度の事業費は、平成25年度より161,637千円を繰越して施工しました。
事業費	千円	113,163	335,737	14,400	493,100	
人件費	千円	3,836	4,669	4,549	13,053	
合計	千円	116,999	340,406	18,949	506,153	

3 CHECK(検証)

指標名	25年度	26年度	27年度	最終目標	28	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	-	55.0	69.7	100(累計)	事業進捗率は、総事業費を100とした事業費の割合です。	
	実績	17.8	59.7	61.5			
	事業進捗状況(27年度)			順調 やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	改良に必要な予算の確保が出来なかったため、目標値には届かなかったものの、老朽化が進行している区間については優先的に補修を実施しました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○ 事業着手時と同様に、円滑な物流動線の確保や舗装改良の必要性は低下していません。					
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 飛島ふ頭内の道路改良及び整備により、物流動線の拡充及び物流の効率化を図ることは、上位施策である「産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成」に貢献すると考えております。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 舗装改良を行った箇所については、安全性・快適性の向上などの成果が得られていると考えております。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 設計段階から最小のコストとなるよう検討しています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
延伸	維持	維持	交付金事業の予算が十分に充当できなかったため、平成29年度に延伸しますが、事業完了に向けて着実に取り組む必要があるため。 * 今回の評価にて、事業完了年度を延伸(28→29年度)
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			28年度以降の取組
当該道路は、集中管理ゲートの本格運用開始後の物流導線の確保や車両走行の安全性向上のため着実に事業進捗を図っていく必要があります。			平成29年度の完了に向け、整備に必要な予算確保に努めるとともに、関係者と調整しながら計画通り事業を進捗させます。